



おおさか



歓迎 ファーレルクラブ



ドイツ・ファーレルクラブからのアンバサダーが、台北、埼玉訪問の後、4月1日に来阪されました。一行は、ACのGiselaさんら13人（女性8人、男性5人）、4月8日までの予定で7組に別れ、11人の会員宅にホームステイしました。期間中、大阪オブショナルツアーや京都観光ツアー、地域交流パーティー等が行われ、最終日には、大阪ガーデンパレスでのフェアウェルパーティー。双方のパフォーマンスで大いに盛り上がり、和やかな交流に時間が経つのも忘れるほどでした。一行は、8日午前、桜満開の日本に名残を惜しみながら、関空から帰国の途につかれました。

Host Coordinator 回想録

細井八千代



今回も、また新しいことを取り入れた受入れとなりました。観光客の急増する関西地区、観光ツアーは下見をして綿密に計画を立てました。京都一日ツアーは、午後は小グループに分けコース選択制で市内散策をしました。また、大阪城観光はオブショナルツアーとして入れました。両ツアーばかりでなく受入れ全般に検討課題は残っていますが、期間中好天に恵まれ満開の桜のもと諸行事をすべて終えました。皆様のご協力のおかげでよい交流ができたと心から感謝します。

《受け入れスケジュール》

- 4/1 埼玉クラブステイ後、大阪入り
- 4/2 大阪オブショナルツアー
大阪城など
- 4/3 フリーデー
- 4/4 京都ツアー
金閣寺、御苑、清水寺
京都グループ地域交流
- 4/5 フリーデー
- 4/6 神戸・大阪グループ地域交流
- 4/7 Farewell Party
(大阪ガーデンパレス)
- 4/8 関空より離日

京都ツアー

金閣寺

京都ツアーは晴天に恵まれ38人の参加者で楽しい一日を過ごすことができました。今年はWorld Friendship Dayを兼ねて、事前にツアーコースの金閣寺、御苑、清水寺を英語で説明する（京都ツアー下見 in English）を企画しました。京都の歴史に造詣の深い朝倉さんに、英文ガイドシートを作っていただきました。



今年もグループ分けをして、リーダー、ガイド、写真係を決めたので行動しやすかったように思いました。しかし、この時期の京都は大変な人出で、アンバサダーの方達に金閣寺を堪能して頂けたかが気がかりでした。ここで、偶然にもFFエドモントンクラブの一行に会い、以前に行かれた方が旧交を温めていました。

御苑





これぞ正に Friendship Force
だと感激しました。その後、御苑
でのランチの後、近衛桜の下で記
念撮影をし、アンバサダーの方達
と散策しながら和やかな時間を過
ごしました。最後に清水寺で、集
合写真撮影をしてグループごとに
参拝、解散をしました。今回、受
け入れのサブHCを経験して、こ
れまでF F Oの行事に係わられた
方々に心から感謝したいと思いま
した。(和田敦子)

京都ツアー下見 in

好天に恵まれた3月18日、
22人が参加して、World
Friendship Day を兼ねた京都下
見ツアーを行いました。参加者
はバス一日券を買って、金閣寺
(鹿苑寺)、御苑、清水寺の3
か所を巡りました。通常の拝観
コースを辿りながら、事前に送
られたガイド用の台本にある短
い英訳文を確認しながら、どの
場所で何を話したらいいか、英
語でどう説明するかを学びました。

ENGLISH



当日推薦した本の要点、3語の英語で伝える方法です。参考にしてください。(朝倉隆夫)



- ① be 動詞を避ける(動的表现へ)
- ② 受動態を避ける
- ③ イディオムと難しい単語を避ける
- ④ 現在形で「今」を大切に+過去形・現在完了形+will
- ⑤ There is/are 構文を避ける
- ⑥ 文の構成は SV, SVC, SVO
- ⑦ 仮主語の It is... を避ける
- ⑧ 否定の not 文を減らす
- ⑨ 主語は4つ…人・モノ・動作・This のどれか

『英語は3語で伝わります』…中山裕木子著より

大阪オプションツアー

肌寒さを感じる天気であったが、長旅の後とは思えないほど元気なアンバサダー5人及び15人の当クラブ会員によって大阪城公園、大川河畔を散策。天守閣最上階からの眺望や館内の展示物だけでなく、公園でブルーシートを敷いて花見をしている光景、大川河畔の屋台など何にでも興味を示して写真に納めている姿を目にすると、受け入れ側としても甲斐がある。ドーンセンターで昼食後は川崎橋を渡って大川沿いをOAPまで散策。桜は未だ蕾が多かったが、雑踏ではないコースをゆったりと交流しながら過ごすことが出来て良かった。（佐藤啓一）



地域交流イベント

神戸 Kobe



森本さんの司会で始まり、どこかぎこちなく微笑ましい福原さんのお友達のマジックショーや抹茶、けん玉、折り紙体験など充実した時間でした。最後は池田さんのギター伴奏のもと全員で”得意の英語”での合唱(you are my sunshine)で盛り上がりました。アンバサダーには食べて飲んでおしゃべりをして楽しんでいただけたと思います。

（萬野真理子）

本来の春の暖かさが戻った4月6日、神戸の素晴らしい眺望のマンションで21人（アンバサダー7人）が集い交流会が開催されました。大阪城ツアーからの再会のアンバサダーもいて、旧知に会ったごとく嬉しく思いました。



京都 Kyoto



今年の地域デーは例年とは違い、京都ツアーの後の時間を当てました。ツアー解散後、産寧坂の喫茶店で元気を回復して出発！ 石塀小路をぬけ八坂神社、そして白川へ。途中祇園の電線に興味を示されました。ドイツでは電線は地下なので地上にあるのが珍しかったのでしょうか。白川の見事な桜を見てもらい錦市場へ。時間がなく通り抜けるだけでした。その後恒例の「天狗」で会食、皆さんで飲んで食べて大いに楽しんでお別れしました。かなりの強行軍だったのに、アンバサダーの健脚ぶりには驚きました。（内山充子）

大阪 Osaka



例年通り今年も会員の宮城さんの自然あふれる山間の静かなお宅で Elkeさんと Hansさんを歓迎して催された。参加者はアンバサダー2人、会員10人、会員の友人4人と少なめではあったが、その分お互いに十分交流できたように思う。ランチは参加者の持ち寄りのポトラック、お茶席は池内さんが亭主となって粛々と進行。沖縄の民族衣装を着けた近在のボランティア4人による三線演奏と歌の披露もありというバラエティーに富んだ会であった。天気も良く、庭で Elke、Hans による楽しいダンスパフォーマンスに皆が手拍子を打ち、笑顔が輝いた楽しい会だった。（河村千津子）

フェアウェルパーティー



今回のパーティーはここ数年やっていたところとは違い、大阪ガーデンパレスで行われました。新大阪駅からシャトルバスで3分のところで神戸、京都からも行きやすかったのではないかと思います。お料理はおいしくドリンクは飲み放題



でよかったのですが、お料理やケーキが充分にいきたらなかった人（おもに日本人）もいたようで、量的に少なかったようで申し訳なく思いました。日本の出し物である江本さんの手品と朝倉さんの南京玉簾は、みんな身を乗り出して興味深そうに見ていました。ファーレルの方



の歌とみんなで踊ったフォークダンスはとても楽しく、日本の河内音頭も全員で大きなサークルになって一緒に踊り例年通りとても盛り上がったと思います。ファーレルの方はとても陽気でおしゃべり好きな方ばかり。次回はファーレルで会いましょうと約束をしてお別れしました。（岩田幸子）





ギゼラとリタは、共にとても明るく楽しい人達で直ぐに打ち解け、毎日賑やかに会話も弾み、家族の事やドイツの生活と日本の違いなど話題もつきなかつた。フリーデイでは朝から私の通っている地域の自彊術にも参加。体操の号令を繰り返したので、ギゼラはすぐ覚え、数字を数える時は上手な日本語で一・二・三・四・・・十と数えていました。午後からは友人も一緒に石井さんのお宅へ。お茶と生け花を体験。さらに近くの神社で祝詞を捧げ旅の安全祈願をし、巫女の装束も着せてもらってとても感激していました。（金山順子）

1週間の受入れと言うと長く感じますが、終



わってみると今年も早く過ぎてしまいました。ステイ2日目に我が家の堀こたつの底がすっぽり抜け落ちてしまいました。夫が一人で直していましたが、なんと Dieter さんが手伝ってくださり、無事直すことができました。お互い、わかりにくい英語の単語のやり取りで作業をしているのを見ていて、ほほえましくもあり、夫もよい経験ができたと思います。（細井八千代）



Barbaraさんは、日本の文化や歴史に興味を持っておられ、じっくり見学され説明も熱心に聞いておられました。彼女とは年齢が近く、共通点も多く、時間を忘れてお話しました。彼女の前向きで明るく生きておられる姿勢はとても印象に残りました。朝食は和食を召し上がり鰯の味噌漬けやゴボウの甘酢漬けを美味しいと、何でもトライされました。今回もデイホストの方々に助けて頂き、私は引率を2日間休めて、その間に夕食の用意や買い物が出来、大変助かりました。（大下令子）

Hans・Elke夫妻は、来日前に typical, traditional な food, culture, custom を体験したいと伝えてきました。私たちは普通の生活を心がけ

ました。彼らは何でも喜んで食べてくれ、寿司は勿論、おでん、たこ焼き、カレーライス、しゃぶしゃぶ、ラーメン、饅頭、生け花や習字、沖縄民謡や三線、また花見や畑の野菜にも興味をもち、楽しんでくれました。「ドイツの私たちの家に来てください。」と言ってくれましたので、機会があれば是非訪問をしたいと思います。（宮城和子・石本志奈江）





再び我が家を訪ねてくれたユッタ、最愛なるミッシェルとの思い出を辿る旅でもあった。森本さん宅で「ローレライ」をハーモニカで歓迎する。念願の姫路城の桜は4年前の満開で華やいだ映像とは違い花冷えの5分咲き、5時起きでランチボックスを抱えての3時間の散策は穏やかに笑むミッシェルをしのぶ時間となった。土くさい我が家の食卓で黙々と豪快に食べる姿、遠慮のない振る舞いに安堵した。お互いナチュラルに人生を謳歌し

よう。ミッシェルと共に、考え抜いた別れの言葉に涙ぐんだ。（飛岡佐恵子）

Heinz, Barbara, Birgit&Christian は、竹林を見学し、浅尾さんのお家で初心者向けの茶懐石をいただきました。私たちも初めての経験でしたが緊張しました。漆塗りの器のマナーの説明、禅の世界の話などは、とても興味深いものがありました。後片づけも緊張しながら漆塗りの器を丁寧に扱いました。女性二人は着物を着付けてもらい、お茶の作法を学びながらお菓子と薄茶を一服いただきました。（朝倉清美）



私達は、
Gaby と



Manfred を、4/1～3に生駒、4/3～8が池田・宗廣が受け入れました。事前情報を埼玉クラブや細井さんから聞いていて、彼らの人となり・食べ物の好み・体調などがわかっていたので、非常に助かりました。お二人とも、非常に気さくで気持ちの良い方々で、会ってすぐに打ち解けました。前半は余裕のあるスケジュールと洋食を心がけ、だ

んだんと体調を戻されて行かれました。加えて、大阪クラブのスケジュールはゆとりがあって喜ばれていました。（生駒朋己）

オリンピック渡航 9月24日～10月5日



今年のアメリカワシントン州オリンピアへのアンバサダー募集は、予定を上回る18人の応募がありました。ご応募してくださった皆様、ありがとうございました。目下、オリンピアクラブのH.C、Mrs. Annと詳細スケジュールについて検討しています。オリンピアの大自然を満喫するとともに、シアトルのボーイング社見学も候補に挙がっています。また、ホームステイ後のオプションツアーは、3泊4日の予定で、アメリカでもっとも人気の高いヨセミテ国立公園へ行くことにしています。楽しくかつ有意義な Journey となることを願っています。 A.C 金山忠夫



ヨセミテ国立公園

行ってきました



行先 ドイツとベネルクス三国
期日 4月17日～4月26日
形態 個人旅行(鉄道の旅)



大阪クラブのUさんからいただいた「欧州鉄道の旅」という自費

出版の本がきっかけで昨夏から準備にとりかかり、今年4月の出発に備えた。まずは貯めに貯めたマイレージで生まれて初めて夫婦揃ってビジネスを予約、コースは成田からANAの直行便でドイツ・デュッセルドルフへ。そこからは、すべて鉄道。ケルン＝ルクセンブルク＝ブリュッセル＝ゲント＝ブリュージュ＝アントワープ＝ロッテルダム＝ライデン＝キューケンホフ＝ハーレム＝アムステルダム＝ブリュッセルと延べ1,250キロを高速列車タリスやICを乗り継ぎ、ブリュッセルから成田に帰るルート8泊10日の超強行スケジュールを立てた。特典航空券、鉄道パス、ホテル、現地ツアーなどの手配は代理店を通さず、すべて自前でやった上、ほぼ計画通りに進んだことに達成感を覚えた。また持参したポケットク(自動通訳機)のおかげでフランス語、オランダ語にも不自由しなかった。今回訪れた世界遺産7つのうち私が気に入ったベスト3は、ケルン大聖堂(塔の高さ157メートルを誇るゴシック建築で世界最大)、次いで運河沿いに中世の街並みが残るゲントの旧市街地、そして15世紀から17世紀に建てられたギルトハウスや市庁舎、王の家などに囲まれたブリュッセルのグランプラス。旅をして感じた所感を羅列すると「電車に乗る際、オランダ以外は改札がない」「犬は1等車にしか乗車できない」「アジアからの観光客は断然中国、次いで韓国、日本は3番目」「ベルギー名物のムール貝の多くはポーランド産」「男女を問わず喫煙者が多い」「若者にタトゥーが目立つ」などなど。これで62の国と地域を制覇した。さてあと何カ国回れるだろうか? (松香正俊)



ランプーンの友人との再会



タイのランプーンクラブを3月26日から4月1日まで福岡クラブが受け入れた。ランプーンとは大阪クラブも6年前の受入れ及び4年前の渡航と縁があるので友人に会いに行った。3月30日のガーデンパーティーに、朝倉夫妻、池田、私の4人と山口クラブから4人が参加した。ガーデンパーティーは福岡クラブの会員さんのお宅を開放されて、広い庭での満開の桜の下でポトラックパーティーを楽しんだ。ランプ



ーンで会った Pensri 夫妻、Yupin、Lawan の4人の人達との再会を喜んだ。(宗廣はつ子)

新入会員紹介

今年6人（2人は復会）が加入され、総勢58人となりました。

南山 市子さん（豊中市）



FFOとの出会いは総合フェスタでした。壁いっぱいの写真や万国旗に目を引かれ、お話をお聞きすると楽しそうな活動の様子が伝わってきました。その後、総会に参加させて頂き、気がかりの英語力はそれほどでなくても大丈夫、との暖かい励ましを受け、思い切って入会させて頂きました。英語力向上に励みつつ、皆様とご一緒に、色々な体験を重ねていければ、と思っています。

森谷 喜代美さん（枚方市）



パッチワークや映画が好きで、いつか世界の人々の文化や歴史をもっと知りたいと思っていたところ、金山さんからFFは、外国の方々との交流にとっても良い組織だと聞いたので思い切って入会しました。入会してメンバーの皆さんがとても明るくフレンドリーだったので、これからご一緒出来るのを楽しみにしています。どうぞよろしく。

中部ブロック会議

6月18日、奈良春日野国際フォーラム

今回の議題は、①クラブ運営（高齢化による会員減を食い止め策、新会員獲得の取り組み、受け入れ渡航の新しい形）②コミュニケーションネットワーク（CNW）③中部大会、日本大会の在り方の3つ。



議題①では、大阪クラブを皮切りに各クラブの課題や取組について活発な議論がなされた。FFI大西理事よりCNW、ブロック会議、日本大会はテーマが同じでもアプローチが異なると理解すべきとの説明があった。実際に課題解決に取り組むのは各クラブで、現状に合った日本版パンフレットの作成、合同受け入れ渡航の具体化に取り組むことなどが議論された。参加者は68人（大阪16人）。また三十数人の少人数で日本大会を引受ける静岡、一桁の会員でも他クラブとコラボして活動する京都福知山、同好会活動や準会員制度で活性化を図る奈良クラブなどの様々なチャレンジに刺激を受けた。（佐藤啓一）

2020年の受入・渡航先決定

2020年の受入れはアメリカ・ノーザンイリノイクラブ、渡航はベルギー・ベルギーアンコーストクラブに決まった。両クラブとも初めての交流です。受入れは東京クラブのあとに大阪が迎える。時期は4月初旬を予定。HCは佐藤啓一。渡航は9月を予定。ACは未定。

編集後記

私事ではありますが、2月末から体調を崩したため本号は紙面割りをしただけで後は私以外の編集人にお任せしていました。出来上がった最終稿を見ていつもより素晴らしいと痛感しました。とりわけメインのファーレルクラブ関連8ページは記事、写真ともに秀逸だと思います。当面、編集作業は休ませていただきますが、縁あって大阪クラブに籍を置き、数多くの同志と出会った事に感謝すると同時にFF活動を生き甲斐、誇りに思っています。（M）

編集発行 フレンドシップフォース 大阪クラブ
発行日 2019年 7月21日 第65号
事務局 〒573-0032 枚方市岡東町1-10
金山忠夫 Tel & Fax 072-846-4435
kanayama573@gaia.eonet.ne.jp
ホームページ担当 飛岡文夫
<http://ffosaka.pro.tok2.com/>
編集人 松香正俊・河村千津子・細井八千代
山田多津美・長谷部純子・内山充子
朝倉隆夫